

TechDAS

「Luxury」 TechDAS Air Force Zero 記事

イギリスの The Telegraph の「Luxury」にて、TechDAS の Air Force Zero が記事として掲載されました。

レビューワー:ケン・ケスラー

T

The Telegraph, 別冊 Luxury 2020 年 3 月 7 日号

Top-flight deck 最高のデッキ

ケン・ケスラーは言う、ターンテーブル Air Force Zero はオーディオテクノロジーを新しいレベルへと引き上げると。

西川英章はオーディオ界の伝説である。彼は全盛期の 1980 年代、当時最高のターンテーブルの責任者だった。日本のマイクロ精機での彼の仕事は革新性、スタイル、特にパフォーマンスの素晴らしさで今も記憶されている。その後彼は日本でディストリビューション会社を作り、2012 からは TechDAS の名のもとに、自身の業界での半世紀の集大成となるターンテーブルを作っている。

彼は Air Force One を出したとき、LP をプラッターに吸着するバキュームシステムなどのディテールを再導入した。モーターはシャーシに外付けされていた。Air Force One は空気のクッションに浮上し、メインベアリングもまた浮上させた。LP を正確な速度で回転させるというシンプルとも思える仕事だが、完全で静寂で、サウンドに”有害な”振動も共鳴も排除してそれを行うために行ったことだった。彼の作った 4 機種 of ターンテーブルシリーズ(名前はユーモラスに US 大統領機に会釈しているようだ)は Air Force One からのトリクルダウン技術を使っているこれが Air Force Zero で頂点に達した。

Air Force Zero を作るにあたって、西川英章は全ての制約を度外視し、これまでで最高級のモーターを求め、ドイツのエンジニアリング会社 Papst 社の限定生産され現存していた古いモーターを 40 個集めた。彼はテクノロジーの極限まで LP とスタイラスの関係を高めた。またチタンをふんだんに使うなど珍しい素材を採用した。必要に応じて質量を加えた結果、重量 330kg 寸法 902x677x355mm というレコードデッキとなった。コントロールは全てエレクトロニクスで全てのパラメーターが調整可能だ。

40人の幸運な音楽愛好家のために、基本モデルは415,000ポンドだ。2本のトーンアームなど希望の追加アイテムを加えると、500,000ポンド近くなる。Air Force Zeroを買うことはできないが実際に聞く幸運に恵まれた人のために、その経験は2度とは味わえない至福の瞬間であり続けるだろう。